



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日

上場会社名 ホッカンホールディングス株式会社 上場取引所 東・札
コード番号 5902 URL <https://hokkanholdings.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 孝資
問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員 (氏名) 砂廣 俊明 (TEL) 03-5203-2680
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	22,713	△4.6	1,798	31.4	2,042	36.2	1,143	12.9
2023年3月期第1四半期	23,818	7.9	1,369	△34.2	1,499	△36.1	1,013	△35.2

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 3,167百万円(30.3%) 2023年3月期第1四半期 2,430百万円(56.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 93.53	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	83.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第1四半期	百万円 128,544	百万円 57,698	% 41.3
2023年3月期	129,205	54,880	39.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 53,119百万円 2023年3月期 50,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 23.00	円 銭 —	円 銭 22.00	円 銭 45.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	23.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期期末及び年間配当金予想額については未定です。詳細は、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	49,000	1.9	3,400	61.5	3,600	40.8	2,300	47.8	188.30
通期	95,000	1.4	2,400	—	2,800	741.5	1,300	—	106.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	13,469,387株	2023年3月期	13,469,387株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期1Q	1,237,336株	2023年3月期	1,244,136株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期1Q	12,227,576株	2023年3月期1Q	12,205,073株
------------	-------------	------------	-------------

期末自己株式数には、役員向け株式報酬制度、従業員向け株式報酬制度および従業員持株会信託型ESOP制度に係る信託が保有する当社株式が含まれています。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資や個人消費は持ち直していますものの、世界的な金融引き締めの影響、物価上昇による景気減速懸念など、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当第1四半期連結累計期間における清涼飲料業界の状況につきましては、新型コロナウイルス感染症の5類移行により人流の回復がありましたものの、生活必需品の相次ぐ値上げによる買い控えや、巣ごもり需要の減少により消費が伸びず、前年を下回る結果となりました。

食品缶詰業界の状況につきましては、販売数は前年を下回りましたものの、製品販売価格の値上げ等により、前年並みを維持する結果となりました。

このような状況におきまして、当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高は22,713百万円（前年同期比4.6%減）となりましたものの、営業利益は1,798百万円（前年同期比31.4%増）、経常利益は2,042百万円（前年同期比36.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,143百万円（前年同期比12.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとしていた「機械製作事業」について、報告セグメントから除外し、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。これに伴い、当第1四半期連結累計期間における比較および分析は、変更後の区分に基づいております。

[容器事業]

(メタル缶)

エアゾール用空缶につきましては、主力の殺虫剤関連製品やエアコン洗浄剤の販売が落ち込みましたものの、ホビー用塗料や燃料ボンベ缶等の受注が増加しましたため、前年を上回る結果となりました。

食品缶詰用空缶につきましては、水産缶詰ではサバ等の缶詰の販売が低調に推移しましたものの、サケ・マスの缶詰の販売が増加したことにより、前年を上回る結果となりました。

美術缶につきましては、外出自粛の緩和による需要回復等により、菓子缶やスパイス缶の販売が好調に推移し、前年を上回る結果となりました。

(プラスチック容器)

①飲料用ペットボトル

飲料用ペットボトルにつきましては、販売数は前年を下回りましたものの、一部の製品において価格を改定したことにより、前年を上回る結果となりました。プリフォームにつきましても、販売が好調に推移したことにより、プリフォームを含む飲料用ペットボトル全体としては、前年を上回る結果となりました。

②食品用ペットボトル

食品用ペットボトルにつきましては、当社ボトルの採用が拡大したほか、PET素材の二重構造バリアボトルの大容量容器の販売が好調に推移しましたため、前年を上回る結果となりました。

③その他

その他のプラスチック製容器包装につきましては、化粧品向け製品等の販売が増加したことにより、前年を上回る結果となりました。バッグインボックスにつきましても、前年を上回る結果となりました。

以上の結果、容器事業全体の売上高は、飲料用スチール空缶事業を廃止したこともあり、7,561百万円（前年同期比5.9%減）となりましたものの、営業利益は319百万円（前年同期は営業損失256百万円）となりました。

[充填事業]

(缶製品)

缶製品につきましては、通常缶では、缶コーヒーの販売不振および缶コーヒーの値上げの影響により、前年を下回る結果となりました。リシール缶（ボトル缶）でも、コーヒー系飲料のペット容器へのシフトおよび缶コーヒーの値上げの影響により、前年を下回る結果となりました。

(ペットボトル製品)

ペットボトル製品につきましては、大型ペットボトルでは、1リットル製品が好調に推移しており、小型ペットボトルでも受注が増加しましたため、前年を上回る結果となりました。

以上の結果、乳製品受託製造および食品の受託製造を含めた充填事業全体の売上高は10,653百万円（前年同期比微増）となり、営業利益は1,805百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

[海外事業]

インドネシアにおいては、ホッカン・デルタパック・インダストリ社では、主力製品であるカップの販売単価の低下等、また、ホッカン・インドネシア社では、お客様の在庫調整等のため、前年を下回る結果となりました。

ベトナムにおいては、日本キャンパック・ベトナム社では、清涼飲料市場に回復傾向が見られず、前年を下回る結果となりました。

以上の結果、海外事業全体の売上高は3,742百万円（前年同期比11.0%減）となり、営業利益は116百万円（前年同期比64.1%減）となりました。

[その他]

化粧品等製造販売事業では、ブランドメーカーからの新製品・リニューアル品の受注が増加したこと等により、前年を上回る結果となりましたものの、機械製作事業では、産業用機械等の大型案件の受注が減少したこと等により、前年を下回る結果となりました。

以上の結果、工場内運搬作業等受託を含めたその他売上高は754百万円（前年同期比18.9%減）となり、営業損失は31百万円（前年同期は営業損失128百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は128,544百万円(前連結会計年度末は129,205百万円)となり660百万円の減少となりました。これは受取手形、売掛金及び契約資産並びに電子記録債権の増加(27,695百万円から28,535百万円へ839百万円の増)、投資有価証券の増加(10,980百万円から11,664百万円へ684百万円の増)、流動資産の「その他」に含まれております前払費用の増加(676百万円から1,232百万円へ556百万円の増)及び無形固定資産の「その他」に含まれております借地権が増加(3,839百万円から4,162百万円へ322百万円の増)したものの、現金及び預金の減少(10,161百万円から7,599百万円へ2,562百万円の減)及び繰延税金資産が減少(589百万円から44百万円へ545百万円の減)したことが主な要因であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は70,845百万円(前連結会計年度末は74,324百万円)となり3,478百万円の減少となりました。これは流動負債の「その他」に含まれております未払金の減少(4,704百万円から3,011百万円へ1,692百万円の減)、未払法人税等の減少(1,199百万円から201百万円へ998百万円の減)及び借入金が増加(35,957百万円から35,420百万円へ537百万円の減)したことが主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は57,698百万円(前連結会計年度末は54,880百万円)となり2,817百万円の増加となりました。これは配当金の支払277百万円がありましたものの、為替換算調整勘定の増加(830百万円から1,993百万円へ1,162百万円の増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,143百万円の計上、その他有価証券評価差額金の増加(4,018百万円から4,504百万円へ486百万円の増)及び非支配株主持分が増加(4,293百万円から4,579百万円へ285百万円の増)したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想・配当予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想・配当予想に変更はありません。

なお、2024年3月期の配当金につきましては、1株当たり中間配当金23円を予定しています。1株当たり期末配当金及び年間配当金予想額については未定ですが、2024年5月開催の取締役会において、連結配当性向35%以上、かつ1株当たり年間配当金45円以上となるように配当額を決定する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,161	7,599
受取手形、売掛金及び契約資産	24,332	24,692
電子記録債権	3,363	3,842
商品及び製品	4,112	3,986
仕掛品	1,815	2,012
原材料及び貯蔵品	3,597	3,764
その他	3,568	4,362
貸倒引当金	△16	△15
流動資産合計	50,936	50,245
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,995	18,985
機械装置及び運搬具（純額）	17,457	16,986
土地	18,682	18,610
リース資産（純額）	1,780	1,625
建設仮勘定	464	714
その他（純額）	525	556
有形固定資産合計	57,905	57,478
無形固定資産		
のれん	2,087	2,115
その他	4,531	4,870
無形固定資産合計	6,619	6,986
投資その他の資産		
投資有価証券	10,980	11,664
繰延税金資産	589	44
退職給付に係る資産	232	191
その他	1,970	1,961
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	13,744	13,834
固定資産合計	78,269	78,298
資産合計	129,205	128,544

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,601	16,210
短期借入金	13,652	14,378
リース債務	647	628
未払法人税等	1,199	201
賞与引当金	863	381
その他	7,538	6,413
流動負債合計	40,503	38,213
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	22,304	21,042
リース債務	1,421	1,274
繰延税金負債	—	356
役員株式給付引当金	156	168
従業員株式給付引当金	43	54
事業構造改革引当金	1,220	1,051
退職給付に係る負債	3,160	3,171
その他	512	511
固定負債合計	33,820	32,632
負債合計	74,324	70,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,086	11,086
資本剰余金	11,085	11,085
利益剰余金	25,267	26,133
自己株式	△1,893	△1,883
株主資本合計	45,546	46,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,018	4,504
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	830	1,993
退職給付に係る調整累計額	190	198
その他の包括利益累計額合計	5,040	6,696
非支配株主持分	4,293	4,579
純資産合計	54,880	57,698
負債純資産合計	129,205	128,544

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	23,818	22,713
売上原価	18,461	16,779
売上総利益	5,357	5,933
販売費及び一般管理費	3,988	4,134
営業利益	1,369	1,798
営業外収益		
受取利息	18	40
受取配当金	91	99
持分法による投資利益	18	5
受取賃貸料	28	27
その他	82	201
営業外収益合計	239	375
営業外費用		
支払利息	84	89
弔慰金	—	30
その他	24	12
営業外費用合計	109	131
経常利益	1,499	2,042
特別利益		
固定資産売却益	3	20
投資有価証券売却益	7	—
特別利益合計	10	20
特別損失		
固定資産除却損	2	57
特別損失合計	2	57
税金等調整前四半期純利益	1,507	2,005
法人税、住民税及び事業税	230	153
法人税等調整額	206	687
法人税等合計	437	840
四半期純利益	1,070	1,165
非支配株主に帰属する四半期純利益	57	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,013	1,143

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,070	1,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△118	486
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	1,419	1,505
退職給付に係る調整額	40	7
持分法適用会社に対する持分相当額	18	2
その他の包括利益合計	1,360	2,002
四半期包括利益	2,430	3,167
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,056	2,800
非支配株主に係る四半期包括利益	374	367

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	容器 事業	充填 事業	海外 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,033	10,649	4,206	22,889	929	23,818	—	23,818
セグメント間の内部 売上高又は振替高	426	—	—	426	439	865	△865	—
計	8,459	10,649	4,206	23,315	1,369	24,684	△865	23,818
セグメント利益又は損失 (△)	△256	1,824	323	1,892	△128	1,763	△394	1,369

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化粧品等製造販売事業、機械製作事業及び工場内運搬作業等の請負事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△394百万円には、セグメント間取引消去130百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△525百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	容器 事業	充填 事業	海外 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,561	10,653	3,742	21,958	754	22,713	—	22,713
セグメント間の内部 売上高又は振替高	513	—	—	513	417	931	△931	—
計	8,075	10,653	3,742	22,472	1,172	23,644	△931	22,713
セグメント利益又は損失 (△)	319	1,805	116	2,240	△31	2,209	△410	1,798

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化粧品等製造販売事業、機械製作事業及び工場内運搬作業等の請負事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△410百万円には、セグメント間取引消去140百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△551百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2020年3月期より独立した報告セグメントといたしました海外事業は、近年その規模を拡大しており、2027年3月期を最終年度とする当社グループ中期経営計画（VENTURE-5）においては「海外事業の拡大」を全社戦略の1つに掲げるなど、充填事業に並ぶ利益の源泉として注力し、今後の当社グループの成長のため、重点的にリソースを振り向けるべき事業と認識しています。

当社グループでは、マネジメント・アプローチ及びステークホルダーに向けた適切な開示の観点から、このような事業構造の転換に応じた経営体制に整合させるために、当第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとしていた「機械製作事業」について、報告セグメントから除外し、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。